

くろかわ感染症情報

参考：厚生労働省、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

国内で
増加中！

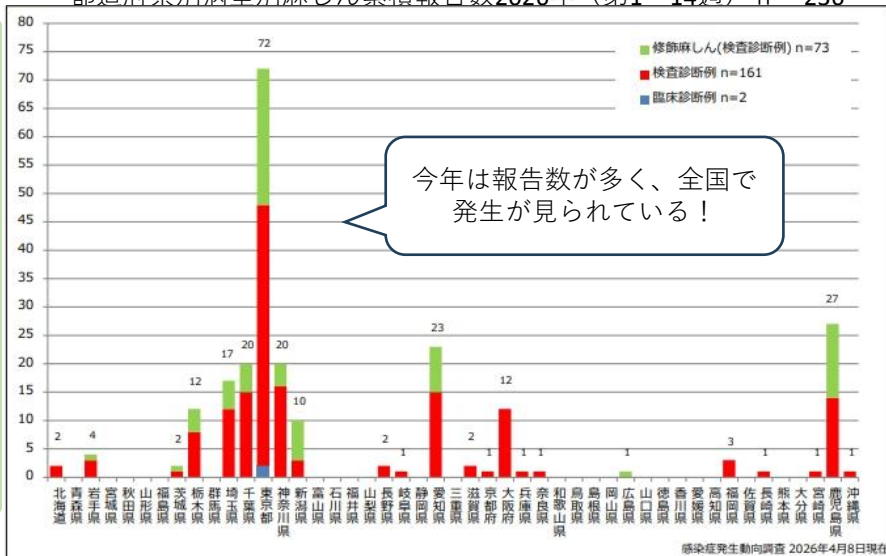
今回のテーマは **麻しん！**

都道府県別病型別麻しん累積報告数2026年（第1～14週） n = 236

麻しんは感染力が非常に強く、ヒトからヒトへ感染します。免疫がない人が感染するとほぼ100%発症し、手洗いやマスクだけでは予防できません。

※GWなどおでかけ後に注意！

海外で麻しんの流行が続いており、日本でも海外から持ち込まれた感染が増えています。また、海外に行っていない人の感染も報告されております。イベントや人混みでは感染に十分ご注意ください。



今年は報告数が多く、全国で発生が見られている！

出典：JHS

海外での感染にも注意！麻しんは世界で流行している感染症です

- ◆海外へ行く前に
 - 麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう。
 - 定期接種を受けていない方は、接種を検討してください。
- ◆帰国後2週間程度は
 - 高熱や全身の発疹、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。



記憶ではなく、記録で確認を！

どんな症状？

①カタル期（2～4日）

10～12日の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、コプリック斑（頬内側の白いぼ）が現れる。

②発疹期（3～4日）

2, 3日熱が続いたあと、39度以上の高熱と発疹が出現。発疹は顔・首→体幹・手足へ広がる。



③回復期

色素沈着がしばらく残る。

※合併症として

重症化すると肺炎や脳炎を引き起こす。また、回復から十年～数十年後に亜急性硬化性全脳炎を発症することもある。

どうやってうつるの？

空気感染（同じ空間にいただけでうつる）、接触感染（咳やくしゃみのしぶきがついたドアノブ等汚染されたものを触った手で、自分の口や鼻、目を触ることです）、飛沫（咳やくしゃみから）感染する。症状が現れる前から感染力があり、感染力が非常に強い。

予防法は？



最も有効な予防法は**予防接種**です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるか確認し、接種歴やり歴がない場合はかかりつけ医にご相談ください。（平成12年4月2日以降に生まれた方は定期接種として2回のワクチン接種機会があります。）

麻しんかな？と思ったら

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

詳しくは厚生省ホームページをご覧ください

2026年4月20日発行

●御意見・御質問などは塩釜保健所黒川支所までお願いいたします。電話：022-358-1111 FAX：022-358-1110

●この情報は、宮城県仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）HP（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-health-k/index.html>）にも掲載しております。もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP（<https://www.pref.miyagi.jp/>）、厚生労働省HP（<https://www.mhlw.go.jp>）をご覧ください。

